



## 始まりの時



4月5日、44期生の入学式を挙行了しました。真新しい標準服を身にまとい

新たな希望に胸を膨らませて入学してきた新入生のみなさん、改めて本当におめでとうございます。  
以下に入学式で校長先生が皆さんに贈った式辞を紹介します。2、3年生の皆さんもぜひ、読んでください。

### 式辞

横堤中学校第44期生、84名の新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

また保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は、お子様のご入学、本当におめでとうございます。

さて、皆さんは小学校の六年間を立派に修了し、希望を胸に横堤中学校の門をくぐりました。今、どんな気持ちでこの場所にいますか。やる気に満ちていますか。それとも少し不安があるでしょうか。でも、どうか安心してください。横堤中学校の教職員はどんな時も皆さんを温かく包み、支えてくれます。一緒に頑張っていきましょう。

本校の校訓は「自主・協同・忍耐」の3つです。この校訓をもとに、新入生の皆さんに心がけてほしいことを三つお話しします。

最初の「**自主**」とは「自ら考えて行動すること」です。自ら考えるためには、しっかりと学ばなければなりません。学校での学びの中心は授業です。毎日の授業を通して、多くのことを吸収し、自ら学ぶ力や考える力を養ってほしいと思います。

二つ目の「**協同**」は、「心と力を合わせて助け合うこと」です。学校は集団生活の場です。相手の立場に立ち、仲間とともに「認め合い、高めあう集団」をつくっていきましょう。そして、仲間とともに助け合いながら、喜びや感動を分かち合ってください。

最後の「**忍耐**」とは、「決してあきらめず、最後までやりぬく」ことです。何事も辛抱強く、一生懸命に取り組む習慣を養っていきましょう。

では、こんな風にしていけばどうなるのか。みなさんは青竹を知っていますよね。まだ若く、しなやかで強い竹のことです。この青竹は4年間は全然伸びていないのに、5年後に一気に伸びるのです。最初の4年間は何も変わっていないのでしょうか。そんなことはないのです。実は4年間は「根」が成長しているのです。まず、しっかりと根を張ることで、太く長い幹を支える基盤をつくっているのです。そして、しっかりとした基盤が出来たとたん、一気に伸びていくそうです。人はともすると目に見える部分で判断してしまいがちです。見える部分がなかなか成長しないから、諦める。見える部分だけを気にするあまり、見えない部分をおろそかにする。まさに小学校、中学校の期間は「根」が成長している時だと思います。

見えない部分の成長が、見える部分を変えていくのです。だから、**努力を続けていれば、今は見えなくてもいつかきっと皆さんの夢が叶うという形で見えてくる**と思います。

みなさんの前に、「叶」の花文字が掲げられています。これは新2年生が、みなさんのご入学のお祝いに、制作したものです。これから始まる中学校生活で、しっかりと根を張り、みなさん自身の夢を育て、その夢が叶うことを祈っています。

最後になりますが、校長先生にも1つの夢があります。それは「**止まり木のような学校を創る**」という夢です。止まり木とは飛ぶことに疲れた鳥たちが木に止り、羽を休め、また元気に飛び立っていく。そんな木のことです。苦しいことや悩み事があっても横堤中学校に行けば元気になる。教職員の顔を見たら安心できる。だからまた明日から頑張ろうという気持ちになれる、そんなあったかな学校を創りたいと思います。どうか皆さんの力も貸してください。

一緒に毎日、楽しく過ごせる学校を創っていきましょう。

では新入生のみなさん、**『これから歩く道を見つけるのに必要なのは、心配ではなく勇気である。』**という言葉贈り、私の歓迎の言葉とします。